成果の説明書

(氏名) 秋朝礼恵	(学部) 経済学部

1　重要事項

（1） 共同研究

「福祉国家の変容と中間層からの支持調達：政治学と財政学との協働による国際比較分析」（基盤研究 B、代表者：高端正幸（埼玉大学)）に分担者として参加しており、研究会で発表。

なお、本共同研究の成果を 2019 年 6 月に学会で発表予定。

（2）出版の分担執筆

①「福祉国家の新しい産業戦略：北欧諸国における観光開発と雇用創出」（基盤研究 B、代表者：藪長千乃（東洋大学)）の成果として、下記の図書を分担執筆。

単著「福祉社会の発展と観光―スウェーデンを事例として」、2018 年、藪長千乃・藤本祐司編著『福祉国家の観光開発』彩流社、pp.85-116.

② 日本とスウェーデンの外交関係樹立 150 周年を記念する以下の図書の編集・分担執筆・刊行

単著「藤原銀次郎―製紙王がみたスウェーデン」ほか 2 編、2018 年、岡澤憲芙監修、日瑞 150 年委員会編『日本・スウェーデン交流 150 年：足跡と今、そしてこれから』彩流社、pp.71-99.

③ その他

スウェーデンの国家公務員制度の動向についてコラムを執筆

コラム「スウェーデンの国家公務員制度」、2018 年、村松岐夫編著『公務員人事改革：最新米・英・独・仏の動向を踏まえて』学陽書房、pp.312-313.

2　その他の事項

(1) 高崎市建築審査会委員（2012 年 4 月 1 日～）

(2) 日本年金機構前橋年金事務所　地域年金事業運営調整会議委員（2013 年 2 月～）

(3) 群馬県国民健康保険運営協議会委員（2017 年 3 月～2018 年 2 月、2018 年 11 月～）

(4) ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク 会員機関代表者（2016 年 11 月～）

(5) 研修講師：「日本の課題を考える：働き方改革から休み方改革へ」、一般財団法人公務人材開発協会主催 「平成 27 年度女性リーダー養成セミナー」（2019 年 2 月 4 日）

(6) 研修講師：「国家公務員の育児休業等制度について」、一般財団法人公務人材開発協会 人事行政研究所主催「育児休業制度説明会」（2019 年 2 月 1 日）

(7) 研修講師：「働き方改革から考える休み方改革」、高崎市「平成 30 年度専門技術研修」（2018 年 11 月 28 日）

(8) 出前授業：群馬県立沼田女子高等学校（2018 年 10 月 25 日）

(9) 高崎経済大学キャリア支援センター委員（2015 年 4 月～2019 年 3 月）

(10) 北ヨーロッパ学会学会誌編集委員（2013 年 1 月～、うち、2014 年 11 月～2017 年 8 月まで編集委員長）及び理事（2014 年 11 月～）

3　次年度以降の計画・抱負

（教育）

ゼミ生には本学経済学部プレゼンテーション大会への出場、学生懸賞論文への応募

を促している。本年度は学生懸賞論文で入賞（奨励賞）が 6 点あった。今後とも、成果を発信する機会に参加することを通して学習へのインセンティヴを高め、学生の意欲的自発的な取組みを促していきたい。

（研究）

2016 年度から分担者として参加している共同研究「福祉国家の変容と中間層からの支持調達 : 政治学と財政学との協働による国際比較分析」が 2018 年度で終了する。本共同研究のテーマは私がこれまで実施してきた研究と重なるところが多い。そこで、共同研究の総括のみならずこれまでの研究の総括という意味でも、2019 年度以降の学会発表や出版の機会を活かして成果を発信したいと考えている。